

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

記入年月日
令和 2 年 3 月 25 日

事務事業名		筑西土木協議会参画事業						事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	050303000356
								単独/補助	単独	所属課	060101
政策	総合計画の施策名	0503		道路網の整備							建設課
策	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり									
体	施策名	03 道路網の整備									
系	手段名	03 ③国道・県道の整備促進									
財務会計上の位置付け							事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (平成18年度~)		
	01	08	01	01	02	00	土木総務事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠		筑西土木協議会規約									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	筑西土木事務所管内の土木事業に関する計画及び事業実施の促進を図るため、管内市が相互に緊密に連絡調整し、土木行政を総合的に推進を目的とし参画する。 (結城市・桜川市・筑西市) ・管内土木行政の総合調整に関する事業 ・国県及び関係機関等に対する土木事業の促進に関する要望 ・管内土木職員の資質の向上を図るための研修		幹事会、通常総会、視察研修会、その他説明会等への出席 事務局との連絡調整(出席者の報告等) 幹事会4/26 2名出席 総会 5/10 3名出席(市長、部長、課長) 視察研修 2/4 2名出席	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
・幹事会 ・通常総会 ・視察研修会 ・要望活動	総会回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	負担金額	千円	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00	
	研修改参加回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
筑西土木事務所管内県道		筑西土木事務所管内県道延長	Km	310.33	310.33	311.76	311.76	311.76
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
筑西土木事務所管内の土木事業に関する計画及び事業実施の促進を図る。		筑西土木事務所管内県道改良率	%	82.19	82.19	81.85	81.85	81.85
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

			30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投 入 量	事 業 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	16	16	16	0
事業費計(A)			千円	16	16	0	
正規職員従事人数			人	4.00人	4.00人	4.00人	
01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)				
事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	16			19 負担金補助及び交付金	16	
合 計			16		合 計		16

事務事業名	筑西土木協議会参画事業	事務事業No.	50303000356	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 筑西土木事務所管内道路整備の促進を図ることを目的として事業開始された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 協議会において、茨城県土木部長へ県道の整備、河川改修の促進を要望し、1級河川の堆積土砂浚渫工事に結びついた。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 筑西土木事務所管内の3市で組織する協議会なので、参画することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 今後も、市内の県道、1級河川の整備状況実態を切実に訴えていく要望活動が必要であるが、財政事情により現時点では向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 筑西土木事務所管内の道路・河川の整備が遅滞する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 協議会・同盟会組織の目的事業が類似しているが、それぞれの構成組織が違うため統廃合は困難である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 定額負担による運営されている為削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協議会・同盟会の参画であり受益者負担になじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	県への要望活動を行い、県道整備、河川整備の他、維持業務の河川の堆積土砂浚渫を要望したが、長年行われなかった浚渫を行って貰えた。今後も市民の切実な声を要望活動に反映し、整備を実現していきたい。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>